

じゅうだん会共同版システム

19年2月9日

株式会社 八十二銀行 酒井信喜

1. はじめに

2. じゅうだん会システム共同化の考え方
と基本スキーム

3. 共同化の状況と今後の展望

はじめに



八十二銀行のIT活用事例(その1)

インターネットバンキングシステム

- －13年1月稼動
- －個人 契約68,000先、月間利用43万件
- －法人 契約9,800先、月間利用48万件
- －八十二銀行を利用される手段
INB:8.5% 自宅に来る担当者:9.2%
(18年12月現在)

スコアリングモデルシステム

- －担保・保証に過度に依存しないご融資
＜無担保ローン＞
- －16年10月稼動
- －取扱件数15,275件、取扱金額195億円
＜住宅ローン＞
- －17年8月稼動
- －取扱件数8,769件、取扱金額1,476億円
(18年12月現在)

八十二銀行のIT活用事例(その2)

マルチペイメントネットワーク システム

<Pay-easy収納サービス>

- ー16年1月より参加
- ー月間利用1,500件(18年12月現在)

<Pay-easy口座振替受付サービス>

- ー18年6月稼動
- ー収納企業7社様(18年12月現在)の専用端末で
口座振替契約受付

地公体税金等のトータル収納 システム

- ー指定金融機関として、納税収納のIT化を地公
体と検討中
- ー自動車税ワンストップサービス(OSS)の導入・
推進と多様化する収納手段への対応も

八十二銀行のIT活用事例(その3)

オペレーショナルリスク情報報告 システム

〔 事故・苦情報告
その他リスク情報報告 〕

ー17年12月稼働

ー何が、どこで、どんな原因で、どの程度発生しているか、またその恐れがあるのか、網羅的かつ一元的に把握

ーリスク情報の本部での共有化と過去事象の検索および要因分析等を活用した業務改善へ

“利用者ニーズに応じた金融商品・サービスが、誰にでも安く、早く、安全に提供される金融システムの実現”

お客様のニーズ

システム・IT

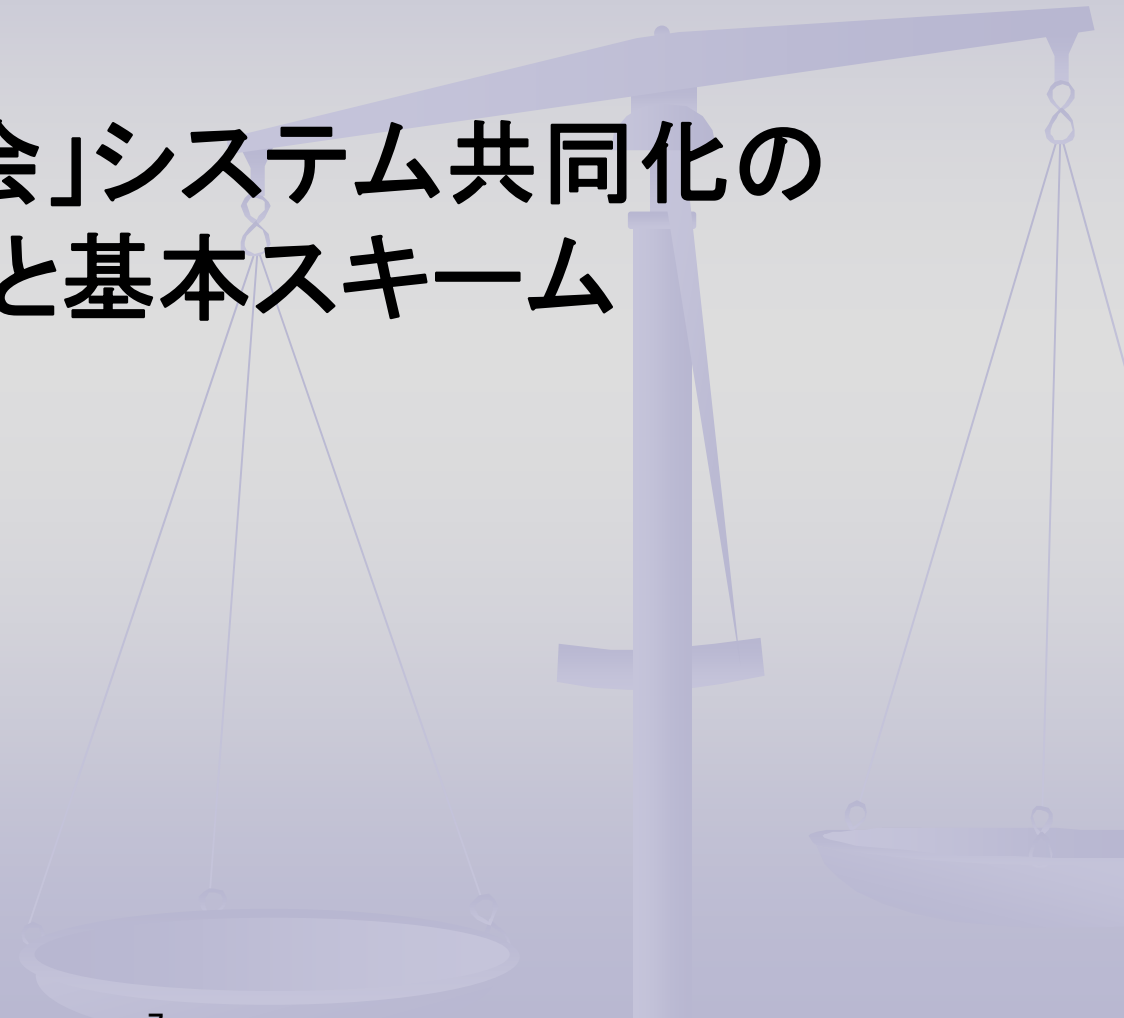


“戦略(展開)を左右する、形づくる”
(playerからsupporter、そしてcreatorへ)

より安価に、
よりスピーディーに、
より安定的に、



“じゅうだん会システム共同化”



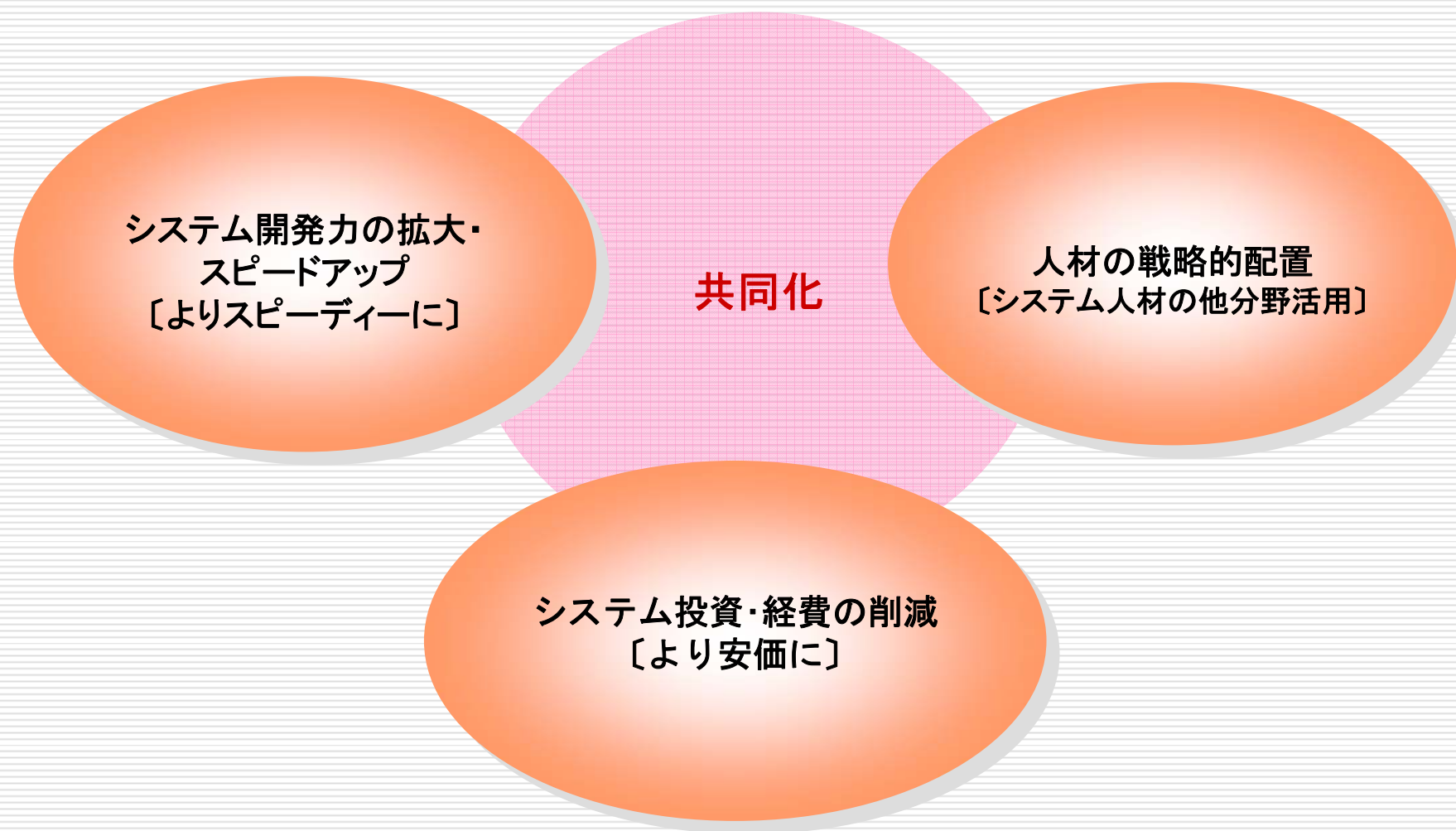
「じゅうだん会」システム共同化の 考え方と基本スキーム

じゅうだん会

八十二銀行の基幹系システムをベースとした
“じゅうだん会共同版システム”を利用(システム共同化)
する銀行の集まり



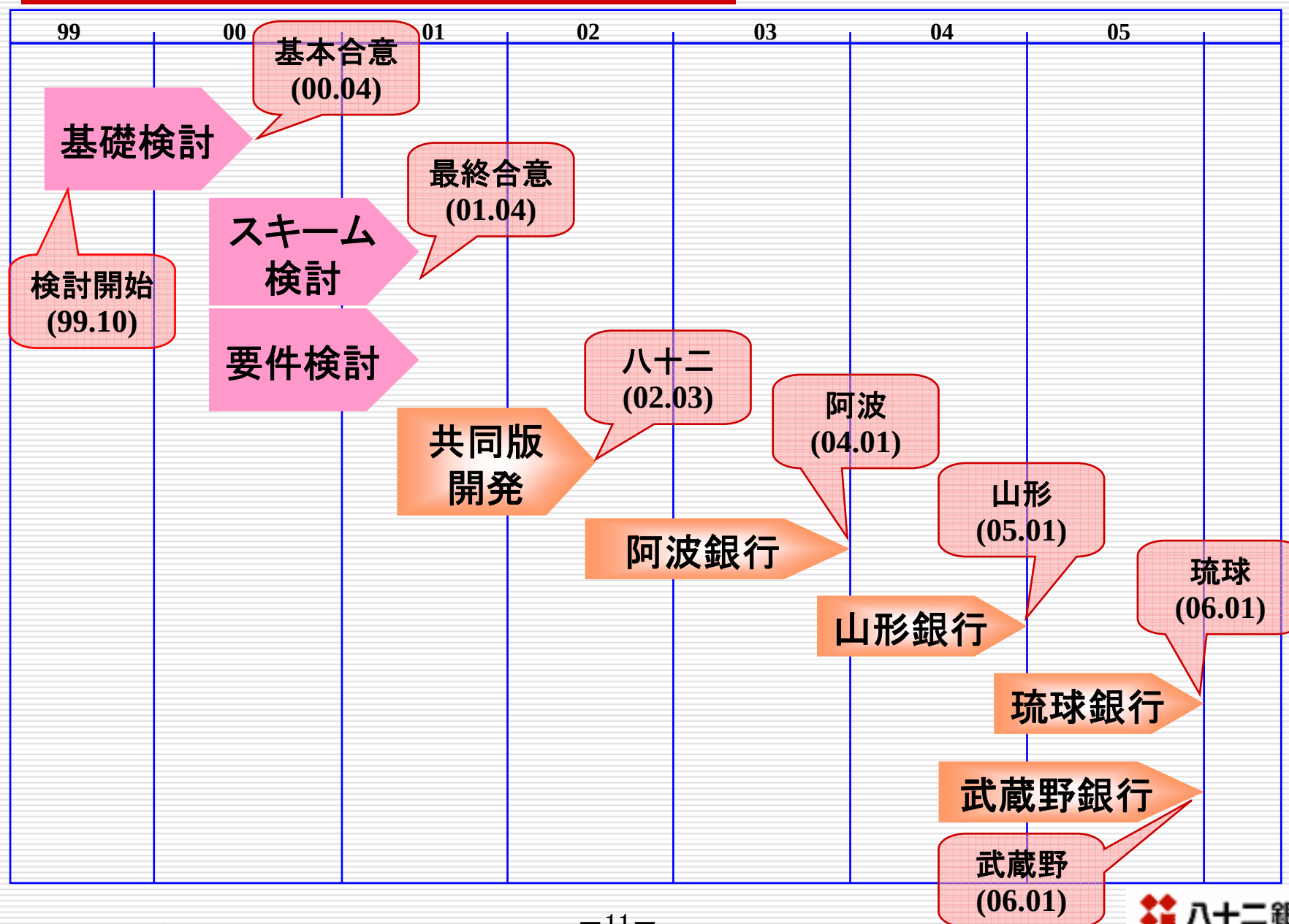
じゅうだん会共同化の目的



じゅうだん会共同化の経緯

- 1971年 4月 日本初の全店全層CIFを中心とする総合オンラインシステム 稼働(弊行)
- 1973年 総合オンラインシステムを琉球銀行様へ譲渡
- 1986年 3月 新総合オンラインシステムを琉球銀行様と弊行とで共同開発することに合意
- 1989年 5月 新総合オンラインシステム 稼働(弊行)
- 1990年 5月 琉球銀行様システム 稼働
- 1993年10月 親和銀行様システム 稼働
- 1994年 5月 山形銀行様システム 稼働
- 1995年 1月 阿波銀行様システム 稼働
- 2000年 4月 「6行会」システム共同化に基本合意
- 2000年 5月 関東銀行様システム 稼働
- 2000年 7月 「6行会」への関東銀行様加盟を契機に「じゅうだん会」に改称
- 2001年 1月 宮崎銀行様システム 稼働
- 2001年 4月 「じゅうだん会」システム共同化最終合意・共同版システム開発着手
- 2002年 3月 共同版システム開発完了・弊行で稼働
- 2002年 4月 武蔵野銀行様が「じゅうだん会」へ参加
- 2004年 1月 阿波銀行様で共同版システム稼働
- 2005年 1月 山形銀行様で共同版システム稼働
- 2006年 1月 武蔵野銀行様、琉球銀行様で共同版システム稼働
- 2008年 1月 関東つくば銀行様で共同版システム稼働予定

じゅうだん会共同版システムのあゆみ



じゅうだん会共同版システム

八十二銀行全体システム

共同版システム			個別提供システム(主なもの)						
勘定系 (預為・融資・CIF等)	情報系 (顧客情報・統合DB等)	対外系 (インターネットバンキング・EB・全銀システム等)	総合採算 ALM システム	自己査定 システム	スコアリング [※] システム	自由自在 システム	電子帳票 システム	営業支援 システム(構築中)	融資稟議 システム(検討中)

共同版システムとは

八十二銀行基幹系システムの業務機能

+

じゅうだん会システム
協議会で決定した追加機能

共同化の範囲

八十二銀行が開発した(今後開発したものを含む)
全てのシステムを対象とし
可能な限り広範囲の共同化を目指す

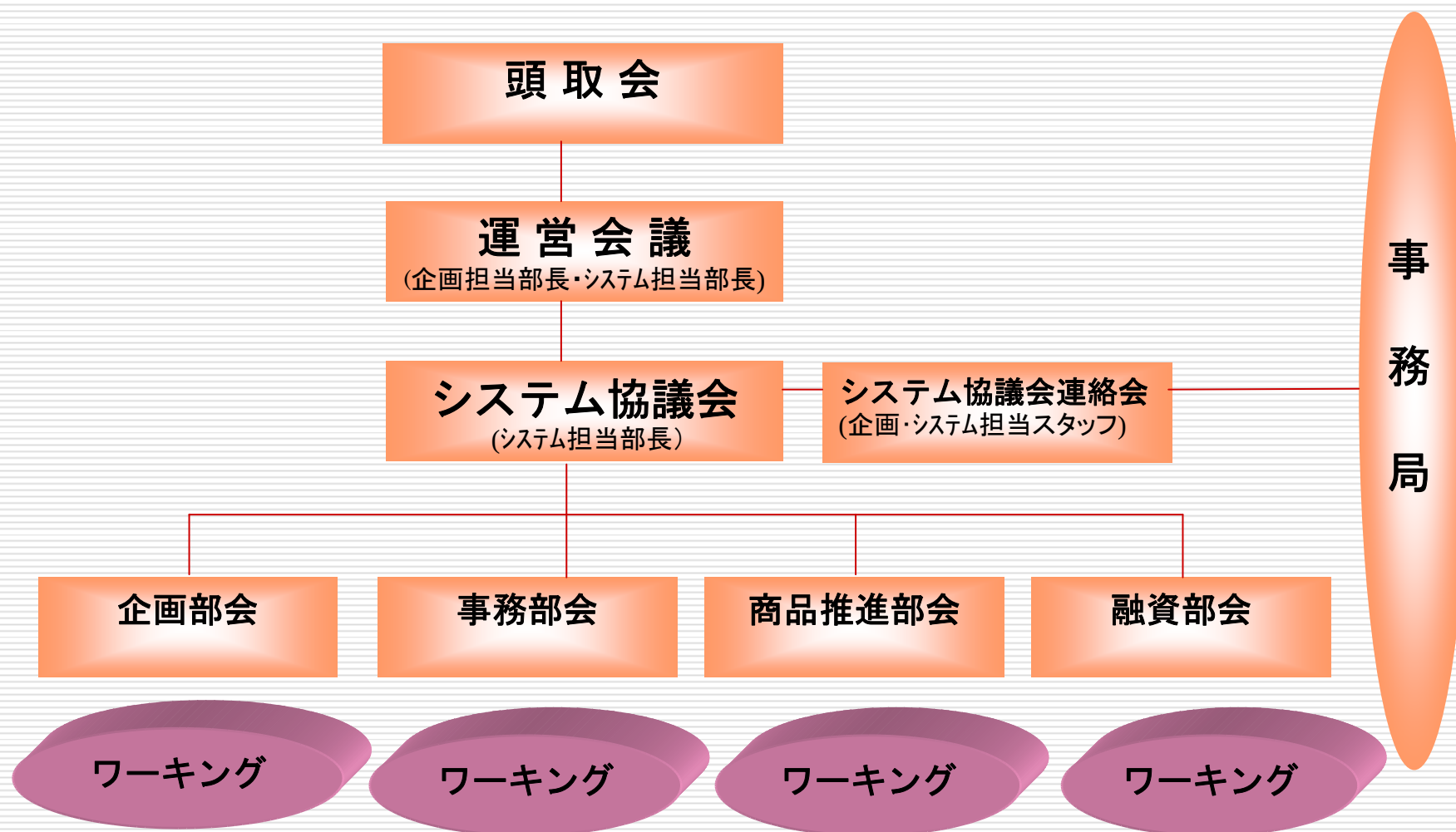
< 共同化のシステム事例 >

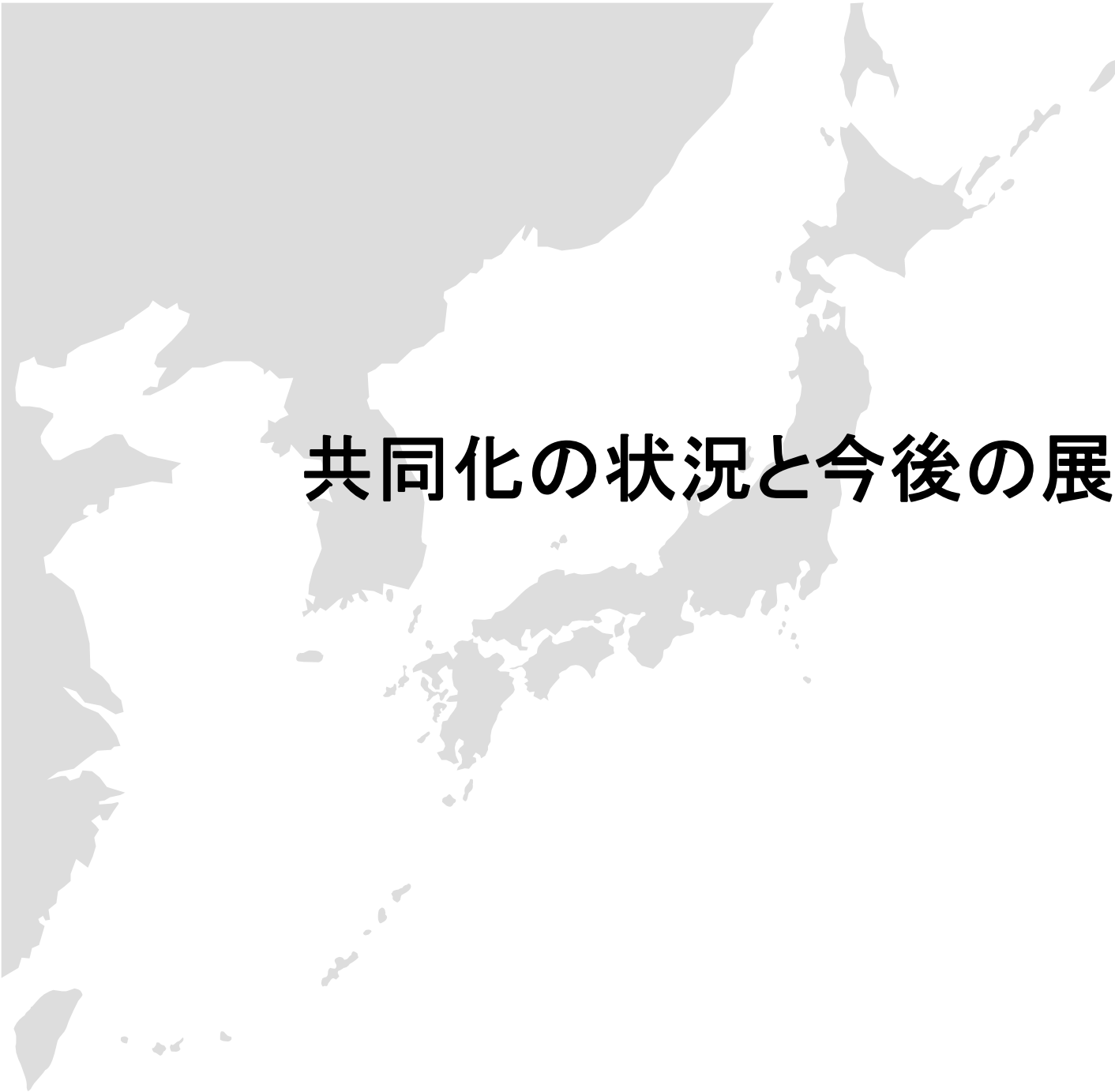
- 基幹系システム
- 営業店端末・ATMシステム
- 本部業務系システム(採算管理・ALM・経理など)
- 営業店業務支援システム(自己査定・スコアリング・自由自在・CRMなど)
- ダイレクトチャネル系システム
(インターネットバンキング・EBサービスなど)

< システム以外の共同化 >

該当システムに関連する業務フロー、規程、帳票などの統一

じゅうだん会の組織体制



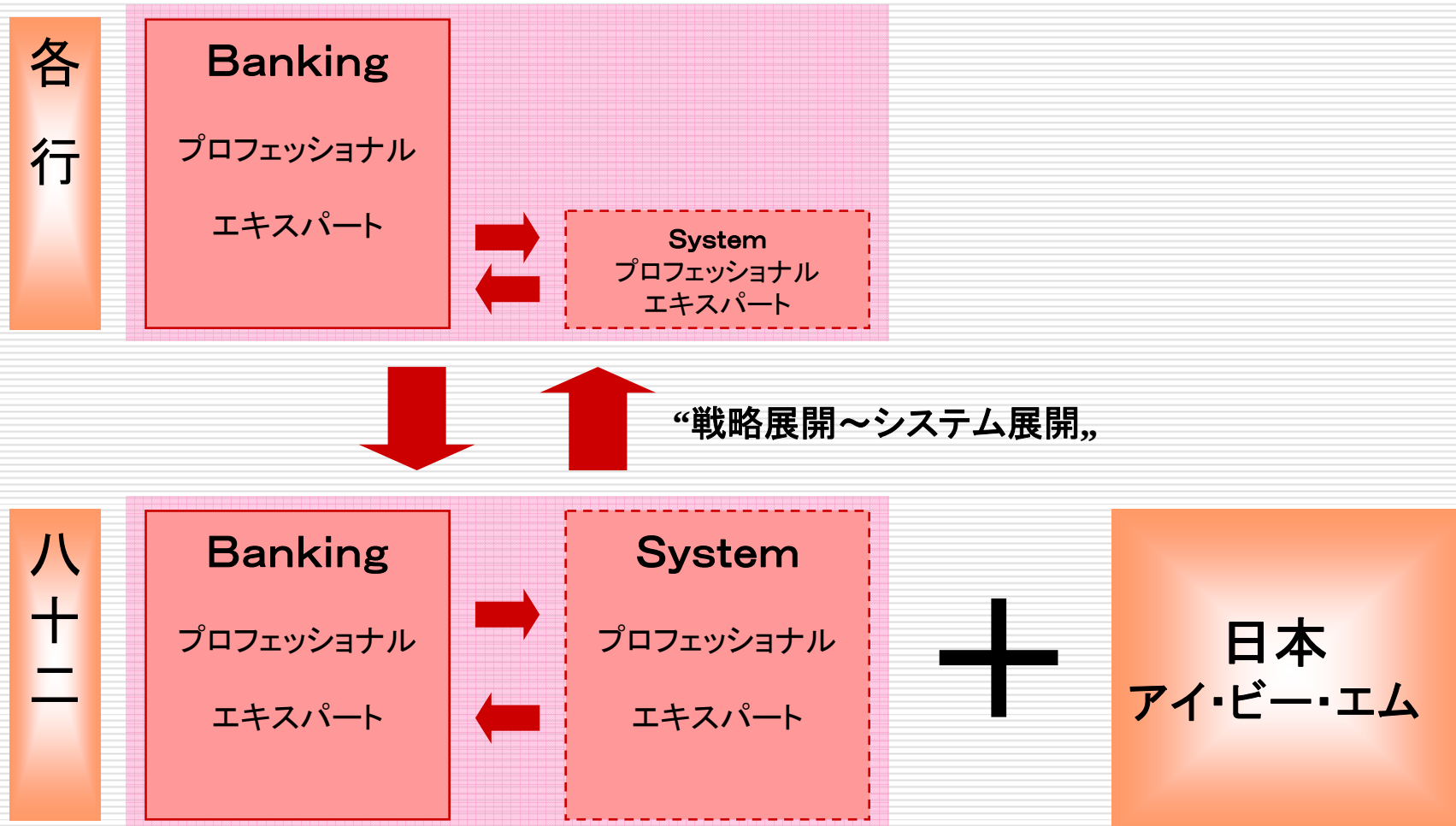


共同化の状況と今後の展望

業務施策等、上流工程の共有化

- －18年2月、弊社企画部に「じゅうだん会共同版企画室」設置
- 移行済行（山形銀行様、武蔵野銀行様、阿波銀行様、琉球銀行様）より常駐派遣者受入
- “戦略展開～システム展開”までの過程に参画
- －研修者受入（阿波銀行様より営業統括部、信用リスク管理室、業務統括部）
- －システム人材研修受入（武蔵野銀行様よりシステム部）

戦略・戦術展開とシステム



今後の展望(その1)

周辺システムの共同化

- ー分散系システムの増加により増大するシステム経費の削減対応の検討

事務の統一化

- ー参加行各行で、各々対応している事項(規定・マニュアル・帳票等)の共同作業化
- ーノンカスタマイズの実現へ

今後の展望(その2)

共同事業

ーシステムに係わる共同化

- eMuSCセンター(インターネットバンキング、運用センター)の共同利用、山形銀行様、武蔵野銀行様、八十二銀行
- 災対バックアップセンターの共同化(八十二銀行18年3月、山形銀行様、武蔵野銀行様、阿波銀行様19年4月稼働へ)

ーシステムの共同化にとどまらない共同事業の実施

- 証券化を前提とした新型住宅ローンの共同開発、販売(八十二銀行19年1月末発売、以降、親和銀行様、武蔵野銀行様、琉球銀行様、山形銀行様、阿波銀行様、関東つくば銀行様、順次発売へ)
- 食の商談会の共同開催等について検討中